

平成19年2月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年6月27日

上場会社名 バンダイビジュアル株式会社

(コード番号：4325

東証第一部)

(URL <http://www.bandaivisual.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 川城 和実

責任者役職・氏名 取締役 藤川 正之
経営セクションリーダー TEL：(03) 6252-3377

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 税効果会計は簡便法によっております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
(内容) 連結(新規)1社 (株)ランティス)
- ④ 前会計年度は連結財務諸表を作成していなかったため、前年同四半期・前連結会計年度の数値の記載及び前年同期との対比は行っておりません。

2. 平成19年2月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年3月1日～平成18年5月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年2月期第1四半期	6,366	—	963	—	1,014	—	563	—
18年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考)18年2月期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年2月期第1四半期	3,911	33	—	—
18年2月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年2月期	—	—	—	—

- (注) 1. 期中平均株式数 19年2月期第1四半期 144,000株 18年2月期第1四半期 — 株 18年2月期 — 株
2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
19年2月期第1四半期	19,772		13,068		63.9		90,754	77
18年2月期第1四半期	—		—		—		—	—
(参考)18年2月期	—		—		—		—	—

- (注) 1. 期末発行済株式数 19年2月期第1四半期 144,000株 18年2月期第1四半期 — 株 18年2月期 — 株
2. 期末自己株式数 19年2月期第1四半期 — 株 18年2月期第1四半期 — 株 18年2月期 — 株

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年2月期第1四半期	△329	△4,212	△671	4,507
18年2月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年2月期	—	—	—	—

[参考] 平成19年2月期の連結業績予想（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	13,270	1,500	890
通期	30,500	4,500	2,680

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 18,611円11銭

※ 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。上記予想に関する事項は、4ページをご参照ください。

1. 平成19年2月期第1四半期 財務・業績の概況に関する定性的情報等

(1) 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等

当第1四半期におけるわが国経済は、原油・原料価格の高騰など一部懸念材料があるものの、企業収益の向上、雇用情勢・所得環境の改善が、民間設備投資及び個人消費を押し上げ、景気は回復基調にあります。

当社グループが属する映像業界を取り巻く事業環境といたしましては、本年4月より開始されたモバイル機器向け地上波デジタル放送である「ワンセグ」が、映像コンテンツを視聴できる新たなメディアとして注目を集め、コンテンツビジネスの通信系メディアへのさらなる進出、拡大の可能性を示すこととなりました。また、映像パッケージソフト業界におきましては、本年1月から4月までの業界出荷実績の累計値が、数量で前年同期を12.3%上回り、さらに金額では前年同期を10.5%上回るなど、レンタル用DVDビデオの活況がDVDビデオの市場をさらに拡大させ、これがビデオカセット市場の縮小を補ったことから、業界全体の景況は再び上昇傾向に向かいつつあります。（注）

このような状況のなか、当社グループは当期より新中期経営計画「クロスコンテンツ・クロスメディア戦略による事業の拡大」を経営方針として掲げ、新たな一歩をスタートしております。この方針に基づく施策のひとつとして、平成18年5月1日にアニメ系音楽の事業で実績のある株式会社ランティスを子会社といたしました。同社保有の音楽コンテンツと当社保有の映像コンテンツをパッケージソフトビジネス、インターネットビジネス等において相互活用することによりコンテンツの価値の最大化を図り、事業の拡大につなげてまいります。

当第1四半期の連結の業績は、売上高につきましては63億66百万円となり、利益面につきましては、売上総利益が25億57百万円、経常利益は10億14百万円と、いずれも前年同期の当社単体実績を下回る結果となりました。これは当期の編成が、作品の制作進行状況、公開時期等の影響により、重点商品の点数が上期より下期偏重型となったためであり、すでに予想の段階で織り込んでおります。なお、売上は予想通り順調に推移し、利益につきましては当初の業績予想を大きく上回りました。

事業別の売上高実績

事業部門	売上高(百万円)	構成比(%)
パッケージソフト事業	5,909	92.8
ライセンス事業	456	7.2
合計	6,366	100.0

パッケージソフト事業では、北野武監督の最新作「TAKESHISH」、前期の大ヒット作「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」の総集編「機動戦士ガンダムSEED DESTINYスペシャルエディション」等の作品が牽引いたしました。また、昨年より市場を拡大してまいりましたレンタル用DVDビデオは、さらに旧作ラインナップの拡充に注力したことにより、当第1四半期の売上高は26億75百万円と大きく貢献いたしました。これら映像パッケージソフト売上に、新たに子会社となった株式会社ランティスのCD等音楽パッケージソフト売上を加えた結果、パッケージソフト事業の当第1四半期の売上高は、59億9百万円となりました。

ライセンス事業につきましては、国内映像ライセンスの売上高が1億42百万円となり、海外映像ライセンスの売上高は、北米マーケットの不振から1億48百万円となりました。これらに、株式会社ランティスの音楽ライセンス売上高1億65百万円を加えた結果、ライセンス事業の当第1四半期の売上高は4億56百万円となり、予想の通り進捗いたしました。

（注） 社団法人日本映像ソフト協会統計資料より

(2) 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

① 当第1四半期末の総資産、負債、純資産の概況

総資産につきましては、主に買掛金や法人税等の支払に伴う「現金及び預金」の減少により197億72百万円となりました。

負債につきましては、主に「未払法人税等」や仕入債務等の減少により67億3百万円となりました。

純資産は130億68百万円となり、自己資本比率は63.9%となりました。

② 当第1四半期末までのキャッシュ・フローの概況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、短期貸付による支出及び子会社株式の取得による支出等により45億7百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期末までの営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払い及び前渡金の増加等により3億29百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期末までの投資活動によって使用し減少した資金は42億12百万円となりました。これは、主に、短期貸付による支出及び子会社株式の取得のための支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期末までの財務活動によって使用し減少した資金は6億71百万円となりました。これは、借入金の返済及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報等

当第1四半期の業績内容に基づき、第2四半期における原価及び経費等を見直しました結果、平成19年2月期中間期の業績予想につき、経常利益につきましては15億円、当期純利益につきましては8億90百万円に上方修正いたします。

なお、平成19年2月期の通期の業績予想につきましては、不確定な要素が多いことから、現時点では平成18年5月25日発表の連結業績予想数値を変更いたしません。

(中間期及び通期の見通しに関する注意事項)

前述の業績等の中間期及び通期の見通しは、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確実性を内包しております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によってこれら見通しから異なる結果となる可能性があります。

【四半期連結財務諸表等】

【四半期連結財務諸表】

①【第1四半期連結貸借対照表】

区分	当第1四半期会計期間末 (平成18年5月31日)		前第1四半期会計期間末 (平成17年5月31日)		増減		前事業年度末の 要約貸借対照表 (平成18年2月28日)	
	金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)	増減率	金額(千円)	
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金		4,507,600		—	—	—		—
2. 売掛金		3,031,865		—	—	—		—
3. たな卸資産		504,183		—	—	—		—
4. 繰延税金資産		626,310		—	—	—		—
5. 前渡金		3,850,049		—	—	—		—
6. 親会社に対する短期 貸付金		4,000,000		—	—	—		—
7. その他		250,275		—	—	—		—
貸倒引当金		△3,329		—	—	—		—
流動資産合計		16,766,956		—	—	—		—
II 固定資産								
1. 有形固定資産		694,297		—	—	—		—
2. 無形固定資産		646,885		—	—	—		—
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	1,187,558		—	—	—	—		—
(2) 関係会社株式	190,523		—	—	—	—		—
(3) 長期貸付金	68,395		—	—	—	—		—
(4) その他	325,476		—	—	—	—		—
貸倒引当金	△107,500	1,664,452	—	—	—	—	—	—
固定資産合計		3,005,635		—	—	—		—
資産合計		19,772,591		—	—	—		—

区分	当第1四半期会計期間末 (平成18年5月31日)		前第1四半期会計期間末 (平成17年5月31日)		増減		前事業年度末の 要約貸借対照表 (平成18年2月28日)	
	金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)	増減率	金額(千円)	
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金		3,598,105		—	—	—		—
2. 1年以内返済予定の 長期借入金		64,280		—	—	—		—
3. 未払法人税等		431,359		—	—	—		—
4. その他		1,868,798		—	—	—		—
流動負債合計		5,962,542		—	—	—		—
II 固定負債								
1. 長期借入金		126,810		—	—	—		—
2. 繰延税金負債		42,360		—	—	—		—
3. 役員退職慰労引当金		189,259		—	—	—		—
4. その他		382,931		—	—	—		—
固定負債合計		741,361		—	—	—		—
負債合計		6,703,903		—	—	—		—
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金		2,182,500		—	—	—		—
2. 資本剰余金		1,214,500		—	—	—		—
3. 利益剰余金		8,953,753		—	—	—		—
株主資本合計		12,350,753		—	—	—		—
II 評価・換算差額等								
その他有価証券評価差 額金		286,474		—	—	—		—
評価・換算差額等 合計		286,474		—	—	—		—
III 少数株主持分		431,459		—	—	—		—
純資産合計		13,068,687		—	—	—		—
負債及び純資産合計		19,772,591		—	—	—		—

②【第1四半期連結損益計算書】

区分	当第1四半期会計期間 (自平成18年3月1日 至平成18年5月31日)		前第1四半期会計期間 (自平成17年3月1日 至平成17年5月31日)		増減		前事業年度の 要約損益計算書 (自平成17年3月1日 至平成18年2月28日)	
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率	金額(千円)	金額(千円)	
I 売上高		6,366,084		—	—	—		—
II 売上原価		3,808,853		—	—	—		—
売上総利益		2,557,231		—	—	—		—
III 販売費及び一般管理費		1,593,532		—	—	—		—
営業利益		963,699		—	—	—		—
IV 営業外収益		54,660		—	—	—		—
V 営業外費用		4,111		—	—	—		—
経常利益		1,014,248		—	—	—		—
VI 特別利益		4,352		—	—	—		—
VII 特別損失		740		—	—	—		—
税引前第1四半期 (当期)純利益		1,017,860		—	—	—		—
法人税、住民税及び 事業税	434,553		—	—	—	—	—	
法人税等調整額	—	434,553	—	—	—	—	—	—
少数株主利益		20,074		—	—	—		—
第1四半期(当期) 純利益		563,232		—	—	—		—

③【第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

区分	当第1四半期会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年5月31日)	前第1四半期会計期間 (自 平成17年3月1日 至 平成17年5月31日)	前事業年度末 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前第1四半期(当期)純利益	1,017,860	—	—
減価償却費	85,551	—	—
連結調整勘定償却額	28,927	—	—
諸引当金の増減額	4,498	—	—
受取利息及び受取配当金	△52,306	—	—
支払利息	1,518	—	—
固定資産除却損	740	—	—
売上債権の増減額	1,113,530	—	—
たな卸資産の増減額	142,241	—	—
前渡金の増減額	△672,476	—	—
未収入金の増減額	△17,020	—	—
前払費用の増減額	△23,592	—	—
仕入債務の増減額	△760,063	—	—
未払金の増減額	△283,651	—	—
未払費用の増減額	116,699	—	—
前受金の増減額	3,043	—	—
預り保証金の増減額	9,454	—	—
役員賞与の支払額	△61,700	—	—
その他	55,331	—	—
小計	708,588	—	—
利息及び配当金の受取額	52,306	—	—
利息の支払額	△1,518	—	—
法人税等の支払額	△1,088,456	—	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△329,079	—	—

区分	当第1四半期会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年5月31日)	前第1四半期会計期間 (自 平成17年3月1日 至 平成17年5月31日)	前事業年度末 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△68,492	—	—
有形固定資産の売却による収入	6,636	—	—
無形固定資産の取得による支出	△9,923	—	—
無形固定資産の売却による収入	250	—	—
投資有価証券の取得による支出	△370	—	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△98,418	—	—
関係会社株式の取得による支出	△80,000	—	—
出資による支出	△3,000	—	—
親会社への短期貸付による支出	△4,000,000	—	—
短期貸付金の回収による収入	37,090	—	—
長期貸付金の回収による収入	4,000	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,212,229	—	—
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の返済による支出	△151,000	—	—
長期借入金の返済による支出	△16,070	—	—
配当金の支払額	△504,000	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△671,070	—	—
IV 現金及び現金同等物の増減額	△5,212,378	—	—
V 現金及び現金同等物の期首残高	9,719,979	—	—
VI 現金及び現金同等物の第1四半期末(期末)残高	4,507,600	—	—